

日刊 磐城時報 編輯者 石城郡 印刷所 磐城時報社

縣稅の滞納方を 縣當局に陳情

四苦八苦の玉川村代表者が 野崎縣議をけふ出縣

石城郡玉川村では二十四日午後村では決議に基き二十七日卯木二時大字住吉通照院に村民大會根村長は村會議員代表者二名、

模範生徒表彰

勅語煥發紀念 石城郡玉川村では二十四日午後村では決議に基き二十七日卯木二時大字住吉通照院に村民大會根村長は村會議員代表者二名、

大部の町村は 教員の給料未拂

助役に贈物をし 漸やく給料ありつけ有様

町村財政の逼迫は想像も及ばない氣の毒さだ「弗々少し宛支い位に悲惨で濱三郡中小學校教員に支給されるので何月分がどれだけ

明治節に 敬老會

石城郡四倉町では役場主催で来る十一月三日の明治節を以て午前九時半より四倉小學校校庭に於て町民體育大會を開催する

自動車検査成績

平警察署管内の自動車検査成績は二十日から五日間平均で行つた結果無欠点で甲種に入られたもの僅に五臺、乙種百五十臺

教員庭球大會

郡教育會主催第三回教員庭球大會は来る十月三日午前十時から平町平商業學校校庭で開催

鐵道慰安會

輪船鐵道従業員の家族慰安會は来る十一月四、五日の兩日原町旭座に於て行へ同時に水年勤績者の表彰式を行ふ由

青年團長排斥とる 神輿供奉青年の不謹慎

石城郡植田町植田分團は同町公一日より一ヶ年間左の通り湯錢團掃除及祭典施行、舊盆暮の

秋の夜

平第一尋四 佐々木良夫 秋が来た 秋の夜は にぎやかだ 廣い野原の 草やぶで 虫のがくたい

磐城稻荷祭典

町前磐城セメント四倉工業所 磐城稻荷神社祭典は来る十一月三日當日は同社従業員角力、齋藤直一氏等を依頼して大字區

北部教員總集會

永年勤績教員表彰 橋本磐中校長の講演 石城郡北部第四區教員總集會は二十六日午前九時から草野小

桑園改良

錦村で 桑園改良 石城郡錦村江栗は古くより養蠶業盛んで鮫川沿岸の優良桑園に

火の消れたやうな 新田町街

平町新田町の藝妓は常磐炭礦好況時代には半玉を合せ二百名に達し、東北に於ては青森、仙台

名の組合員は協力 致経営改善に努め昨年は断然好結果を得更に本年は同村大倉からも組合加入が十六名あり秋蠶より晩秋に達する、組合員は増大されて行つたが不幸にも落着暴落を續けてゐる生蠶價格には生産者も指導員も對策に窮し就中小作桑園の發賣家は反當り上三十圓、二十五圓で肥料金を差引く時は到底經營不可能で繼續か廢業かその岐路に迷ふ者續出してゐるが此の對策として同組合では此の際桑園改良すべきであるとし更に小作人に對しては地主にあく迄も温情主義を以て小作料値下漸行を迫るべく組合幹部等が調停する筈である、桑園改良は甲乙丙の三種に分類し甲は既改良桑園、昨幅廣きものはその儘とし、乙は従來の密植桑園でこれは、畔を抜きこれに間作として弱弱その他を奨励し丙は種類不良なる桑園でこれは改植或は米麥作とする技術員紺野氏は組合員の桑園を一巡基本調査する。

相馬支局通信 原町高女校の 記念事業 原町實科高等女學校にては教育勅語煥發四十周年記念として校庭に植樹する外精神訓練として良習樹立を生徒に誓はしめ生徒各自に一つづつ善行をなさしむる事とする。

原町通信

奉納競馬

原町乘馬會主催で来る三十日(舊九月節句)原町競馬場に祀る馬頭觀世音菩薩の祭典を執行し奉納競馬を同場に於て催す筈で、近郊よりの出馬も多くその盛況は今から豫想されてゐる。

小高町の人口

相馬郡小高町は今回の國勢調査の結果戸数千二百八十二戸、人口六千八百九十人で、内男三千三百二十八、女三千五百七十人で第一回調査より六百九十三人の増加である。

七萬俵の輸出米

相馬郡小高町地方の生産米は品質優良なもので各方面へ輸出されてゐるが、従来五萬俵位であつたが本年は優に七萬俵に達するだらうと各輸出商はそれと準備中である。

請負の陳情

相馬郡金房村外二ヶ村村農業水利事業は縣直營であるが、地元の村には窮民救済のため同工事を直接關係ある小高町、金房福浦の地元村に請負を指命して貰ひたいと右二町二ヶ村長連署を以て縣知事宛陳情書を提出した。

巷の噂

▲亡國の麻雀 平地方の麻雀熱が超スピードで高潮に達してゐるため昨今の同地はモダン麻雀といつた様な感があるので、日常々識の考へを以て習得に努めてゐる者が多い、テンボの早い氣移りのやすい近代人の感覺から推して果していつまで續くかは測り知れない、現在の疑り方は形容し難い素晴らしさで、始まつたら家庭も時間もあつたものでなく、宛ら物につかれたやうそこに又誰かのいふ亡國の娛樂との意味があるのかも知れないが、きふのふ平署に投げ込まれた投書に右の様なき事があつた「賭博と始末選ぶ處ないもので家の件など夜は家をつた事がなく、さもロク／＼仕事をしない亡國の的のものであるに何故警察は取締らぬのか」と真剣な父の叫びらしい。愛好家は注意の事と當局も澁面作つてゐる。

僕等と自彊術

自彊術八人の會 (下) 來月の三日はナベだとなんて此は秘密ですがね、いや罪がない話さ。あいつ等は月に一度の茶話會を開かうつてんでさ。それあもう常例になつてゐるんだから、でもその時ばかりはシヤから開放されること言つてます。ドヤドヤとさういふ等は歸りかけてゐますね。ちや僕等も別れませう、だが一寸待ちなさい君達も一つ言ひたいことがある。四、五日前だつたかあいつ等の手で街の辻々にボスターが貼られましたね。見たでせう。あいつ等は書いた健康週間の此の好い機會に、と、それあ小さかつたが真剣な宣傳でした。それから朝の散歩の林間で呼吸するオソンの分の好き、僕等は此の體操にしましたね。それあ事實だ。なに藥屋の能書程だつて、戯談にもそんな口をきいちゃ失禮だつて、あいつ等は亦さう書いたおいて下さい。さういふ處であいつ等は平民的なんです。なんですつて、入會費だつて、止せ！そんなことを

佛國マルソー會社元詰 生葡萄酒 マルソー・フランク・白 1.10 マルソー・ルー・ジ・赤 良品にして安價賣行飛ぶが如し 西村屋藥局

毒校 腸胃 専門 婦人病 淋病 皮膚病 院 醫科 腸胃病 村松 (七〇一話電)

耳にしうなら、あいつ等はんに憤慨させよう。あいつ等はまるで爆薬で、そして雪のやうに潔白なんです。あいつ等は若い、そして若い君達を待つてゐるんです。あいつ等の激測たる感情と意志は一視同仁の精神の上に芽生えてゐるんです。ちや此れで別れませうか、では最後に僕は更めて「諸君自彊術においでなさい」と君達に言ひませう。随分長かつた。此れで八人の若者の存在も明らかになつたと言ふものだ。ではもう一度前に戻るが、だがその八人の若者が何うしたかといふの、さういふ暴言は再び考へ直さなくてはなるまい。(終)

外科 専門 X光線科 上田外科醫院 電話一二九番

耳鼻咽喉科 應入 需院 合津醫院 電話五五九番

溫灸 胃腸病 醫學博士甘名推獎 特許ラヂウム温灸器 說明書進呈 特約代理 福島縣平町五ノ廿八 志賀齒科醫院 治療部 福島縣平町白銀町九 關口悦子

美佐男御召 三井吳服店 優秀銘仙陳列特賣

衛生試驗所 病氣相談所 救療所 看護婦募集 本院 院長 醫學博士 難波 治 本院 主管 賀澤 忠 電話七二番

磐城共濟病院 院病濟共城磐 番一四六話電町平

磐城共濟病院案内 本院は時局に鑑み八月一日より入院料並に往診料左の通り低減致候間御参考迄申上候 入院料... 一日一般金二圓也 本會員金一圓五十錢也 往診料... 院長及其他の一般金三圓也(平町内) 博士に限り本會員金二圓也